

2023 年度入学式 祝辞

東京理科大学に入学される皆さん、おめでとうございます。

春の訪れを感じさせる今日のよき日に、皆さんを新入生としてお迎えできることを大変嬉しく思います。学校法人を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

多くの皆さんが高校生として過ごした、この3年の間、新型コロナウイルス感染症による影響で日常生活に様々な制限があったことと思います。そんな状況の中でも研鑽を積んで見事に合格を勝ち取られ、この日を迎えられたことに敬意を表します。また、入学された皆さんを励まし温かく見守ってこられたご父母やご家族の皆様にも、改めて心からのお祝いを申し上げます。

先ほど説明がありましたように、東京理科大学は創立142年の歴史と伝統のある大学です。今では、大学院生も含めて19000人を超える学生が在籍する、我が国随一の理工系総合大学に成長しています。近年、いくつかの学部で再編を行ってきましたが、今年は新たに創域理工学部で学部と7つの学科の名称を変更し、先進工学部で2つの学科を増設しました。こういった学科に所属する皆さんは、新しい組織の下で募集した初めての入学生ということになります。

これまでに約22万人の方が本学を卒業され、研究者や技術者、あるいは中学・高校の理数系教員として、教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍しておられます。本日入学された皆さんが、この輝かしい理科大ネットワークの仲間となられる事は大変な喜びであり、皆さんの事を心より歓迎いたします。

これから本学の一員になる皆さんに、理科大の歴史をもう少しご紹介したいと思います。本学の前身である東京物理学講習所が創立されたのは、明治時代が始まったばかりの1881年です。その当時は本学だけでなく、日本を代表する私立大学のいくつかが創立されているのですが、実はその多くが少数の法律家や思想家、外国人宣教師が創立した文系の学校であり、本学のように若き21名もの学徒集団が創立した理系の学校は他にはありませんでした。

つまり、理科大が誕生する前に物理を学ぶには、それより少し前に新設されたばかりの国内唯一の大学で、外国人講師からフランス語で学ぶしかなく、いわば、特別なエリート教育だったのです。その教育を受けた21名の理科大の創立者達は、それぞれの故郷や国から手厚い支援を受けてきたことに恩義を感じ、分かりやすく日本語で理学を教える事で、我が国の未来を担う優れた人材を広く育てていこう、こういった強い想いで開校したのが東京理科大学の始まりです。

当時は学ぶ意志があれば誰でも入学できたそうですが、ちゃんと学問を身に着けたものだけを進級、卒業させることにしており、創立時から教育の質の保証に取り組んでいたことが分かります。このように、学生を丁寧に指導ししっかりとした実力をつけて卒業させる、いわゆる実力主義の教育を行ったことで、社会的な評価は着実に高くなっていったといわれています。この方針はその後の東京理科大学にも継承され、伝統と革新のバランスを取りながら常に時代の最先端の教育と研究を行い、今日を迎えています。

我々は、8年後の創立150周年に向けたビジョンとして、「世界の未来を拓く TUS(Tokyo University of Science)」となることを掲げています。人類にはSDGsのように世界がグローバルに抱えている様々な課題があり、多くの研究者が日夜その解決に向かって挑戦しています。また、社会を豊かにするための技術の革新も進んでいます。東京理科大学はそういった最先端の研究を通じて、世界の持続的な発展に貢献し、皆さんから注目される研究拠点になることを目指しています。

学生の皆さんには本学での教育を通じて、国内だけでなく世界のどこにおいても活躍できるような能力を身につけてほしいと考えています。より具体的には、各学科や専攻での学びにより獲得した高い専門性や、その過程で培った論理的かつ科学的な思考力。また、そのような基礎力に基づいて、社会の課題を正しく認識し、新しい学問領域やイノベーションを創出できる、柔軟で独創的な発想力。そして、多様な考えや能力を持つ人々に敬意を払って尊重し、協力して活動できる行動力が重要だと考えています。

そして、このような実力を培ってほしいとする皆さんを、本学は常に力強く応援しています。例えば、その実践の場として学生ベンチャーがありますが、その起業化を支援する本学独自のベンチャーエコシステムを構築しています。現在、理科大発ベンチャーの数は150社以上ありますが、これをさらに増やしていきたいと考えています。興味のある皆さんには、是非学生の中にチャレンジしてほしいと思います。

大学院生を含めて学生の皆さんには、将来にわたって自身の礎となる教養や倫理観を身に付けていくと共に、常に科学技術の諸課題に使命感をもって挑戦し、世界の発展に率先して貢献しようとする高い志を持つ人であって欲しいと思います。21名の創立者達も感じていたであろう、ノブレス・オブリージュの精神と誇りをもって、自分自身はもちろん世界の未来を切り拓いていく実力をしっかりと身につけてください。

最後に、皆さんが健康に留意され、有意義で充実した学生生活を過ごされることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

2023年4月9日
学校法人 東京理科大学
理事長 浜本 隆之